

ひまかげ

No.13

2013.4.16

☉ 議会だより

発行編集：日之影町議会報編集委員会



《ボランティアの方々の手も借りて、今年もきれいに咲きました》

平成25年度	一般会計予算・平成25年度の施政方針 に対する総括質疑	p2
平成25年度	予算審査特別委員会報告・主な議案	p3
所管事務調査	・一般質問（5名）	p4～p6
平成24年度	一般会計補正予算（第8号・第9号）・特別会計補正予算	p7

平成25年度 一般会計予算

総額 47億3,500万円 (対前年比9.1%増)

3月 定例議会

★ 主な歳出

議会費	報酬 議員共済会負担金等	5,813万円
総務費	高千穂鉄道施設撤去事業費及び再生可能エネルギー等導入推進事業費等	8億6,652万円
民生費	国民健康保険事業繰出金等	8億3,772万円
衛生費	病院事業繰出金等	3億8,231万円
農林水産業費	農村活性化プロジェクト交付金事業費等	7億0,409万円
商工費	観光施設改修事業費等	1億2,440万円
土木費	住宅団地整備事業費及びふるさと砂防事業費等	4億7,252万円
消防費	常備化負担金等	9,306万円
教育費	中学校体育館改修工事等	2億8,257万円
災害復旧費		2,718万円
公債費		8億6,428万円

第1回定例会は、3月5日に開会し、所管事務調査報告・同意2件・議案31件・発議2件を慎重審議し原案のとおり可決した。
 一般質問には、5名が登壇し、町長・教育長に質問、3月21日に閉会した。

総務文教総括質疑

問 25年度予算は積極予算であるが財政の健全化のバランスは、町長 積極的な制度事業の導入、展開によりプライマリーバランスは、とれていると認識している。

問 八戸保育園が閉園するが対策は、町長 残念ながら園児数減による民間業者の経営判断であるので、今後を見守りたい。

問 町立病院の経営は、急速に悪化しているが対策は、町長 早急に外部の有識者も入れた経営検討委員会を立ち上げ、今後の病院のあり様も含め対応したい。

問 自治公民館活動の活性化策は、町長 公民館の連携、更に伝統芸能の保存伝承に力を入れたい。

問 本年度新しい教育目標は、町長 子供達の生きる力・先生達のやる気等5つの目標を更に磨いて行きたい。

経済建設総括質疑

問 TPPの展開次第では、地方に及ぼす影響は極めて甚大である。所見を伺う。町長 地方の存亡に関わる問題である。町独自の支援策も検討しなければならない。

問 森林セラピー事業の効果と6次産業推進の方策は、町長 七年間で約6,800万の経済効果と試算している。ポトルフラワー等の新ビジネスも支援検討したい。

問 「新エネルギー導入促進協議会」の内容と取り組みは、町長 宮崎大学、環境森林部等の専門有識者も含めて立ち上げ、本町の新エネルギーの可能性、推進法を探りたい。

問 商工業の活性化策は、町長 「緊急雇用創出事業臨時特別基金事業」と「ふるさと起業応援事業」等を更に活用したい。

HINOKAGE GIKAI DAYORI

予算審査特別委員会 委員長報告

我が国も12月の国政選挙で、民主党から自公連立政権へと交代し、「アベノミクス」と称し「金融緩和」「財政出動」「成長戦略」の三本の矢で長期デフレ脱却を目指し、補正予算も13・1兆円の大型補正となった。

一般会計予算は、対前年度比9・1パーセント増の47億3,500万円の予算構成である。伸びの理由として、高千穂鉄道の施設撤去事業、道路インフラ整備、住宅団地造成等の投資的事業費増が挙げられる。特別会計の介護保険は、平成25年度より新体制での運営となる。場所移転と専属員配置による細やかな支援体制を期待したい。

また、病院経営については更に詳細な改善計画と方向性を示す事は言うまでもない。

今後は、国の施策が景気を回復させ税収の伸びを期待するものだが、来年度からの消費税アップと、TPP交渉参加による中山間地域の本町経済にどのような影響があるのか、不安要因もある。従って

予算執行にあたっては緊張感を持ちつつ、財政規律の順守はもとより、投資効果を十分に精査し、町民目線を常に意識した執行を望むものである。我々議会も「町民生活の向上」と「豊かな郷土づくり」の為に知恵を出して行きたい。

第1回 定例会総括質疑

① 農林業振興対策

【問】椎茸ホタ場への作業道の舗装は、事業対象外である。更に、種駒助成金の補助金の補助要件「2万個以上」の見直しの考えは。

【町長】規準の見直し検討が必要である。

② 有害獣被害防止対策

【問】町内の国有林は、広大である。同林内の適正捕獲、立ち入りの働きかけは。

【町長】国有林を有する全国町村会等で申し入れをしているが見通しは、厳しい。

③ 高齢者の健康増進対策

【問】高齢者へ肺炎球菌ワクチンの予防接種助成の考えは。

【町長】肺炎も80種類余り全てに効果が有るものではないが検討はしてみる。

④ 中学校の備品（机・いす）の更新について

【問】計画では、既製品（スチール）であるが本町産材利用の考えはないか。

【教育長】機能性（移動）調整（高さ）がしにくい等現場の声、更に過去に利用した町村の実態等を勘案して決めた。

同意第1号

西臼杵郡公平委員会委員の選任は地方公務員法の規程により、須藤美津子氏を選任。

同意第2号

日之影町固定資産評価委員会委員の選任は地方税法の規程により、馬場伊佐子氏を選任。

指定管理者の指定について（継続）

① 「鹿川地区交流センター」を鹿川地区活性化協議会に平成25年4月1日から5年

間指定するもの。
② 「TR列車の宿」をひのかけ列車の宿有限責任事業組合に平成25年4月1日から5年間指定するもの。

議案第14号 辺地に係る総合整備 計画の変更

この事業は、平成22年度から、平成26年度までの5ヶ年間で取り組む事業で、毎年度見直されている。

今回は、次の6辺地（集落）の公共的施設の整備計画変更が提案された。

- 1、小原辺地 消防施設小型ポンプの更新
- 2、中組辺地 町道下組岩戸線改良事業
- 3、鹿川辺地 交流広場整備事業、林道杉の原線舗装事業
- 4、大管辺地 営農飲雑用水施設整備事業、林道大管線舗装事業
- 5、松の木辺地 町道鶴の平諸塚線舗装事業
- 6、星山辺地 町道吾味二又線改良工事、防火水槽新設工事

意見書の提出

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉参加表明に対し、国益を守り最善の方策を求め、内容は次のとおり。

安倍首相は、3月15日TPP交渉への参加を表明した。交渉入りでは、全ての物品を協議の対象とする事が基本とされ、米をはじめとした日本の重要品目の除外等が確保される担保はない。

更にTPP交渉の新規参加国は、すでに合意された事項の順守を求められる等、不利な条件が付される可能性が指摘されている。農林・水産や地域経済への打撃だけでなく、国民生活への影響を懸念する団体や市民が参加反対を訴えてきた。しかし、十分な情報開示や国民的な議論もなく、安倍首相は交渉参加へと舵を切った。

よって、国においては、重要品目を関税撤廃から除外または再協議確約が得られなければ、日本の農業は破滅的な打撃を受ける。国民の食やいのち、暮らしを将来にわたって守って行くためにも一切の妥協は許されなことを強く要望する。

所管事務調査

■総務文教常任委員会

《調査日》平成25年2月19日

《場所》保健センター・町立病院・生活支援ハウス・いきいきサロンの現状。

《所見》町立病院の経営が悪化している。抜本的な方向性を示す為にも(仮称)「町立病院検討委員会」を早急に立ち上げるべき。

■経済建設常任委員会

《調査日》平成25年2月19日
～20日

《場所》ぼつくる農園(宮崎市)、福富農産(綾町)

《所見》両施設とも農作業受託、農産物販売更には6次産業化へと事業展開、拡大を図っている。本町の取り組みにも大いに参考になった。

一般質問

「第3セクター旧株」『もくみ』への巨額な公費の支出についての責任を問う」

飯干 静香

問 旧株「もくみ」の操業14年間の累積赤字が5億6,000万円となり、操業継続が不可能となった。創業にかかる出資金は株主6者で3億4,510万円、

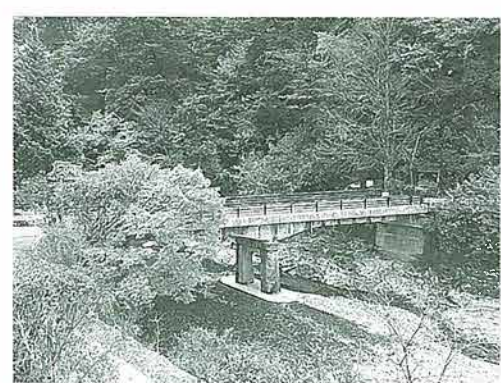
うち日之影町は1億5,095万円、乾燥機・ボイラー等の機械施設の拡充に国・県・日之影町からの補助金8億732万円が、民事再生法の適用により、公金事業費等が全額消滅したことになる。

経営の立て直す見込みのない旧株「もくみ」に、長年にわたり巨額な公費を投入した財政負担の責任はどこにあるのか、また本町行政の最高責任者としての道義的責任はどうか。

町長 出資者、補助金の交付者として事業の責任は果たしてきた。経営者ではないので、損失補償は出来ない。

「行政施策について」

佐保 満男



問 国政の変化に伴う大型補正が、本町にも期待出来る。町政にどの様に反映されるか。

町長 町道改良・林道橋塗替・耐震防災水槽・林道橋22橋点検等中学校体育館改修・住宅団地整備等・補正予算の有効活用を図って行く。

問 地域からの要望活動が多い

ようだが、ここ10年間に受けた数とその成果は。

町長 平成18年度以降47公民館から、98項の要望が行政に対し挙がっている。成果は、70事業で達成率は、71%である。

問 要望が出来ない地区もあるのでは。

町長 建設課・農林振興課等を中心に町内を常に点検しながら整備推進に努めている。

「情報通信整備と登山・釣り事故防止対策について」

問 県道日之影宇目線の英国館より北、大分県境道は、以前として携帯不感地域で、人家もあり対策を望むが、

町長 受益戸数が基本であり現状は厳しいが、自然の宝庫、また森林セラピーで訪れる観光客からもエリア拡大の要望も多く、今後も関係各方面に積極的な取り組みをお願いして行く。

問 山岳遭難や釣りによる事故が近年おきに起き、消防の捜索も容易ではない。予防対策は出来ないか。

町長 祖母傾山系には、登山者また溪流釣りを楽しむ人も多い。傾山・トツキン岳・登山口に登山者名簿の設置及び溪流釣りの入口付近に注意を喚起する看板の設置等を行い、万が一の場合は、防災ヘリや消防・警察と連携を図り、救助体制を図って行く。

「再開発と安心安全なまちづくりについて」

坂本 和雄



問 既存の商店街、住宅団地の再開発とUターン・Iターンによる定住促進策は、

町長 商店街の再開発は、本の消費者ニーズを把握しながら、交流人口の増加、世代間交流の促進、賑わいの創出をはかりつつ、商工会と連携し、長期ビジョンを策定する。

住宅団地の再開発は、町内のバランス、インフラ整備が整った環境を念頭に置きながら、需要の動向を見据え整備を図る。

問 老朽化した町道の橋梁・トンネルの点検と対策は、

町長 町道には橋梁147橋、トンネル12本がある。築後30～50年を超えるものが大部分であるが、点検・安全対策は随時行ってきた。

また、平成21年度から23度にかけて、補助事業により、調査点検を行った。この成果を踏まえ、計画的に対策を行う。

「農業振興の対策について」

問 本町における第6次産業の方策は、

町長 本町の6次産業への取り組みは、全国でもいち早く取り組みがなされ、ふるさと物産販売所を拠点に県内外へのPR販売が行われてきた。現在では、ゆず・くり・

梅等を原料とした商品が人気を集めている。また、地域の資源を活用した女性中心のグループによる商品開発の取り組みも行われている。更に農工商連携による新たな取り組みを図る。

問 本町農業の中核である畜産の振興策は、

町長 畜産は平成23年度に見る農業産出額の48%を占める基幹産業であるが、近年生産者の高齢化に伴い生産農

「地域振興対策について」

杉本 道生

問 県が西臼杵地域をモデル圏域に想定している「中山間地域振興推進体制整備事業」への取り組みは、

町長 西臼杵3町及び椎葉村、諸塚村や宮崎大学等の意向を踏まえ、複数のテーマを決める。時期が来たら本町の課題、研究テーマに沿った調査研究を行い本町の施策に反映していく。

家、飼育頭数ともに減少している。新規就農者の確保、多頭飼育農家の育成を推進する。

「教育行政について」

問 統一テストの公表について所見を問う。

町長 本町教育委員会は公表しない。その事由は、学校の序列化、学校現場や児童・生徒に良い影響を及ぼすとは考えられない。

問 平成22年延岡市と定住自立圏形成協定の今日までの成果と、今後の取り組みを問う。

町長 地域医療では、住民団体と連携し、かかりつけ医や適正受診を推進し、救命救急センターの受診者が減少するなど、医療機関の機能分担への理解が深まった。雇用の確保では、延岡市が企業誘

致に取り組む際は、企業情報を共有し、企業訪問する場合は、本町からも派遣協力する体制ができています。大学との連携では、九州保健福祉大学によるフィールド調査を仲組・椎木尾地区で実施し、水源の里対策事業に活かした。本計画は、25年までだが26年以降も引き続き広域で取り組んでいく。

「農業振興対策 について」

問 農業従事者の高齢化・後継者不足が大きな課題だが、本町の「人・農地プラン」作成の進捗状況は。

町長 町内全域を範囲とし認定農業者111名及び新規就農者4名を対象として「速やかプラン」を作成した。今後中山間直払事業参加している55地区協定を対象に代表者を農地推進員にお願いし、アンケートの実施等今月下旬に検討会を開催し「きめ細かなプラン」を作成する。

問 青年就農給付金の取り組みは。

町長 本年度は、3名の新規就農者に交付している。25年度は、複数の新規就農者と相談協議を重ね、交付対象者を決定したい。

「防災対策 について」

問 国の大型補正に伴い本町の防災対策、消防施設への取り組みを伺う。

町長 防災、減災対策関係は、約2億7千万円である。林道橋梁点検を22橋、龍天橋塗装事業、用水路整備等、蓋掛け計9地区、耐震性貯水槽2基、更に県単で5基の採択を受けているので事業期間内で整備していく。



「どう考える・・・？」

◎自然エネルギーの導入！

甲斐喜夫

問 再度、自然エネルギーの導入と構築について伺う。

町長 国の脱原発施策から自然エネルギーに転換された。県の施策も同様であり、本町は、今迄にも、風力・水力等も調査してきたが何れも容量が不足しており、実現化されていない。今後は、将来に向けた新エネルギー導入促進協議会を立ち上げて、課題解決に向けて模索し、県の「モデル地域」に指定されるよう要望している。



町長 実証実験等約1年間かけて検討したい。

問 国の再生可能エネルギー等導入促進基金事業活用策は・・・。

町長 県の環境森林部から国費100%の事業をいただき、災害に備えた機能維持をもたせるため、保健センターの屋根にソーラー発電10KW、蓄電池15KW設置し、経費の節減を図りたい。

◎6次産業の構築化！

問 本町の取り組み姿勢は・・・。

町長 地域の特性を生かした新しい特産品、ダリア・ラナンキュラスの花弁類を活用したポトルフラワー等試作品が出来ている。今後、関連企業、生産者、関係団体とのコーディネート確保が必要であり、現在検討している。

問 村おこし事業と6次産業のセッティングについて今後、どう進める・・・。

町長 安全、安心の観点から充分な意志疎通と連携が必要であると考える。

問 6次産業も本町独自のオリジナル「農家民泊要項」を定めたように6次産業も本町独自のものをつくるべきと考えるが・・・。

町長 今後、十分検討していきたい。

問 「6次産業推進プロジェクトチーム」または、6次産業推進連絡協議会を立ち上げて今後の方向性を検討してみてもどうか・・・。

町長 今後、十分検討して取り組んでいきたい。

■平成24年度一般会計(第8号)・特別会計補正予算■

一般会計

歳入歳出補正 1,528万円
補正後の総額 48億8,558万円

歳入の主なもの

地方交付税	(普通交付税)	2億4,121万円追加
町税	固定資産税等	△210万円
分担金及び負担金	現年発生農地災害復旧費分担金等	△129万円
県支出金	災害復旧費補助金等	△5,152万円
繰入金	財政調整基金繰入金等	△1億6,100万円
諸収入	町有林育林等補助金等	305万円追加
町債	土木施設災害復旧事業債等	△1,350万円

歳出の主なもの

総務費	高千穂鉄道施設撤去工事請負費等	△526万円
民生費	私立保育園運営費扶助費等	△1,022万円
衛生費	病院事業繰出金等	8,049万円追加
農林水産業費	鳥獣被害防止総合対策交付金関係補助金等	△2,820万円
土木費	自然災害防止事業等	△1,056万円
教育費	教材用情報教育機器使用料等	△3,234万円
災害復旧費	農林水産施設災害復旧事業及び土木施設災害復旧事業	△658万円
公債費	長期債借入償還利子	△310万円

■特別会計補正予算

会計名	歳入歳出補正額	補正後の額
国民健康保険事業特別会計	932万円	8億4,733万円
簡易水道事業特別会計	△450万円	6,830万円
奨学資金事業特別会計	△139万円	817万円
農業集落排水事業特別会計	△4万円	1,372万円
介護保険特別会計	2,794万円	6億8,705万円
後期高齢者医療特別会計	△162万円	5,428万円

■平成24年度一般会計補正予算(第9号)■

一般会計

歳入歳出補正 4億2,671万円
補正後の総額 53億1,230万円

※(国の大型補正予算を受けて実施する事業の補正)

歳入の主なもの

国庫支出金	地域の元気臨時交付金、社会資本整備総合交付金事業補助金	1億4,800万円
県支出金	林業専用道等整備事業補助金、農業水利施設保全合理化事業補助金等	1億5,903万円
町債	林業専用道等整備事業債等	1億1,870万円

歳出の主なもの

農林業水産業費	林業専用道等整備事業及び農業水利施設保全合理化事業等	3億0,860万円
土木費	社会資本整備総合交付金事業及び道路整備交付金事業等	1億1,201万円
消防費	耐震性貯水槽整備事業	1,100万円
予備費		△490万円

議会への要望

★竹の原公民館

林道竹の原諸和久線の舗装について

★高千穂地区建設業協会

西臼杵郡内の各種建築などの公共工事を地元企業による指名競争入札へのお願

★兵庫県の井田敏美氏から違法な腎臓生体移植を禁じることを求める陳情

議会にご案内を頂き
有り難うございました。



議会傍聴(日之影小・八戸小6年生)

- 小崎神社例祭
- 徳富神社例祭
- 八戸観音祭
- 糸平春祭り
- 中川チューリップまつり
- 丹助岳山開き

議会のうごき

(平成25年1月～平成25年4月)

1月15日(火)	議会運営委員会・全員協議会	13日(水)	監査委員定期総会・研修会(宮崎)	9日(土)	延岡地区日之影町人会(延岡)	
16日(水)	西臼杵郡森林・林業活性化協議会役員会	19日(火)	総務文教常任委員会所管事務調査(町内)	11日(月)	予算審査特別委員会	
20日(日)	平成24年度「第23回新春少年の主張発表大会」	経済建設常任委員会所管事務調査	(宮崎市内・綾)	13日(水)	予算審査特別委員会	
21日(月)	農作物を守る鳥獣被害対策研修会(高千穂)	宮崎地区日之影町人会(宮崎)	15日(金)	議会議事委員会・全員協議会	17日(日)	第7回「あさひの森」植栽管理活動(石峠)
22日(火)	西臼杵郡自治協会役員並びに評議員合同会(高千穂)	24日(日)	八戸観音祭・イベント	18日(月)	第66回日之影中学校卒業式	
23日(水)	時局講演会(木城町)	25日(月)	北部広域行政事務組合議会(延岡)	19日(火)	平成25年第1回定例会交換会	
24日(木)	宮崎県農政水産部講演会(高千穂)	28日(木)	議会運営委員会・全員協議会	21日(木)	平成25年第1回定例会(閉会)	
27日(日)	第42回日之影町駅伝競走大会	3月1日(金)	西臼杵農業改良普及事業協議会先進地調査(熊本)	24日(日)	糸平春祭り	
28日(月)	もくみ検討特別委員会	高千穂高校卒業式(高千穂)	日之影町推挙振興会定期総会	25日(月)	町内小学校卒業式	
30日(水)	冬季品目花束の贈呈式	28日(木)	議会運営委員会・全員協議会	27日(水)	議会報編集委員会	
31日(木)	議会運営委員会・全員協議会	3月1日(金)	西臼杵農業改良普及事業協議会先進地調査(熊本)	27日(水)	西臼杵郡衛生組合議会	
2月1日(金)	竹の原集落要望	3日(日)	五ヶ瀬中等教育学校卒業式(五ヶ瀬)	4月2日(火)	議会報編集委員会	
2日(土)	小崎神社例祭	5日(火)	平成25年第1回定例会(開会)	5日(金)	議会報編集委員会	
6日(水)	平成25年第1回臨時議会	7日(木)	平成25年第1回定例会(総括質疑)	7日(日)	中川チューリップまつり	
7日(木)	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会現地視察(延岡)	8日(金)	平成25年度事業計画現場調査	9日(火)	日之影中学校入学式	
9日(土)	延岡市 市制施行80周年記念式典(延岡)			11日(木)	各小学校入学式	
10日(日)	日之影町民のつどい			15日(月)	戦没者慰霊祭	

編集後記

厳冬だったせいでしょっか？早春を告げる花々が、例年になく早めに開花しました。「桜の花」は、もはや卒業式での季語に使われそうですね。その様な環境変化の中、我が国もTPP交渉参加を決断しました。中山間地の本町にとつてもその影響は少なからず出て来るものと思われませんが、その様な環境変化にも「めげない強い気持ち」を町民一丸となり共有し、頑張り貫く事が次世代の日之影へと繋がるものと思います。いよいよ新年度がスタートしました。我々議会に対しても町民の皆様からの新年度にふさわしい「提案、叱咤、激励」を心からお待ち致しますと共に、本年度も宜しくお願い致します。

佐藤 功

